

天神橋

〔都紀行二〕九日○文久四年、網島京橋を過て、浪花三橋之内なる天満橋、長百十五間といふ下を行
て、八軒家に著船せしに、友どちの迎出でまつ、

〔和漢名數地理〕大坂大橋三○中 天神橋

〔攝陽群談七〕天神橋 同川筋○大次第ニアリ、南ハ京橋六町目、北ハ天満拾一町目ニ涉リ、西成郡
南長橋ニ出ル處也、

〔攝津志四西成郡〕關梁 天神橋在天満橋西、長七十六丈、有奇一名渡邊橋、又名江橋、在府北曰國府濟、又名堀江、濟、文德實錄曰攝津國故名、言、長柄三國兩河、頃年橋梁斷絕、人馬不通、請准堀江置二艘船以通之、是也、此地初名鬼城野、後呼濟南北、皆曰渡邊村、天正中、徒南渡邊民家於圓江、移居者守墓家於難波村、其墟今爲市廓有古歌、

〔半日閑話初編五〕一大坂出火

寛政四年壬子四月十六日夜九ツ時出火○中

公儀橋 一箇所 但天神橋

町橋八箇所但し天神小橋、裏門橋、兩川橋、濱屋橋、筋達橋、吳服橋、櫓屋橋、せんだんの木橋、○中略

右之通ニ御座候以上、

〔十三朝紀聞六光格〕文化六年七月大坂大水、天神橋敗者二十間、

〔都紀行二〕十二日○文久四年、天神橋といふ長百二十二間三尺あるを渡りて、北の橋詰には青物市場ありて賑わし、

〔和漢名數地理〕大坂大橋三○中 難波橋

〔攝陽群談七〕難波橋 同川筋○大南ハ北濱二町目、北ハ天満橋上町ニアリ、

難波橋